

【中期優秀作品 サブテーマ② 阿蘇山と雲仙岳】



応募者 : 湊上 久男さん (長崎県諫早市在住)

タイトル : 白木峰高原より雲仙岳・阿蘇山を望む

撮影場所 : 諫早市白木峰町白木峰高原 撮影時期 : 2015年10月5日

コメント : コスモス咲く白木峰より朝焼けの雲仙岳と阿蘇山を撮影。この朝は、東方に、雲が無く阿蘇山まで、見通せました。残念ながら噴煙までは望めませんでした。雲仙岳の形状は、鼻の低い人が、口を開けて寝ている横顔のようです。右側が足元です。



応募者：西尾 隆一さん（熊本県熊本市在住）

タイトル：阿蘇山と雲仙

撮影場所：草千里 撮影時期：2015年3月12日／2015年10月3日

コメント：漆黒の闇で埋め尽くされるとき、神々がおわします土地が姿を現す。草木が生い茂り、または朽ち果て、月日の流れを感じられずにはいられない悠久の営みが、時を経て私の心に伝わってきます。星の海を従え、草千里に映し出される噴火のいでたちは、あたかも雲仙岳の形状と重なって見えます。



応募者：榎 光義さん（熊本県熊本市在住）

タイトル：飛んで行けえ阿蘇へ／飛んで行けえ雲仙へ

撮影場所：金峰山 撮影時期：2015年10月7日

コメント：熊本平野の奥に阿蘇山の山脈。ヘリでひとつ飛びの感じがする。／金峰山から西を見渡せば、雲仙岳が外洋を阻む地形だと納得。鳥もひとつ飛びに渡れそうに感じる。頂上は“亀が首を上げて、有明海を見張っている、又、守っている”感じにも見える。



応募者： 湊上 久男さん（長崎県諫早市在住）

タイトル：みかん畑から雲仙岳と阿蘇山を望む

撮影場所：熊本県宇土市長浜町 撮影時期：2015年10月14日

コメント：秋に美しいのり網を撮影するみかん畑の丘から雲仙岳及び阿蘇山が一望出来ます。この日は雲一つ無い晴れた日で、少し霞が掛かって居ましたが、綺麗に撮影出来ました。約70年前小学校の教科書に有った、「みそ五郎どんが雲仙岳に腰かけて顔を洗っていた」との内容が頭から消えず、雲仙岳を見るとみそ五郎どんの腰掛を連想します。